

風の流

【短歌】

楠瀬 兵五郎 選

待ちに待ち二月遅れの雨降りて主食のソルゴ広野に蒔けり
 温き日を待ちまちて今日庭の日向注連作りする空に鷹舞う
 魅せられし星の占いわれにさえ残生の夢充ちくるものを
 紅白の餅を重ねて初春を寿ぎて居る光さす部屋

三十戸に充たぬわが峽を照らしくるこの星この月吹きわたる風
 古里も限界集落となりゆくか移りゆく世の運命と言へど

ちちははのまなざしありて我ありき吾子の言葉は花火のごとし

「オダイジニ」現金自動支払機に声かけもらひ病院を出づ

コスモスに囲まれ開くクラス会無邪気な少女にみな還りおり
 甦る村の風情のなつかしさ糸に通して芋の茎干す

うれしげにいちご類ばる孫の顔まな裏にして苺苗植う

幸くあれと紋白蝶は生みつらむキャベツの青虫朝あさつぶす

点滴の針の手ごたへギクツとす狂ひはあらず血管に繋がる

亡き夫の二倍のいのちわが生きて夜更けの風呂に雨の音聴く

診察の姑が排尿を言ふその度に抱へくれたる医院の看護婦

若者の住む家のように一台の赤き自転車軒下におく

九十歳でんぐり返せば十九と笑まひし亡母に似て満月

病み妻にメニユーを習い今は我が作る食事に和み楽しむ

テレビにてカップ橋映りおどろきぬ思い出多き平湯温泉

わづかなる事も出来ない口惜しさに痛む両足なでては叩く

消毒の今年の柿の実り早し夕日に映えて鶏小舎のそば

宮地 亀好 西尾 玉喜 谷内 務 公文 千恵 吉本 悦子 小松 隆之 山崎 貴子 大石 綏子 門田 明子 北村佐喜子 公文 正子 高橋 章 武内 弘子 竹村 咲子 古川 安子 松中 賀代 大石紗智子 高橋 和一 鍵山 春子 門田 喜美 小野寺朱実

懐しき句会の仲間君逝きて図書館に観る「土佐の柳人」

造成地増えゆく見ればやがて来ん食糧難をわれは憂うる

たんたん機械織り暮しし祖母を思ふ今日はつくりし伊達巻を見て

「ブルータス嗚呼お前もか」あとを絶たぬ食の偽装に人々の声

起しやればぐうの手をつき首上げるダウンするまでニコニコとして

自由自在の小さな体やはらかし中国雑技団のなかの少女は

おはようとかわす言葉の元氣よし今日の良き日を表すごとく

整列する牛に交じりて一頭の馬がこちらを見ている牛舎

ほのかなる匂いの道を過ぎ来り金もくせいの家の前に立つ

背をのびし歩幅のばして歩めよと娘は声高に吾を上げます

日々に見て癒され来る菊の花思ひをこめて花殻を切る

夫みとる八十歳のわれ不甲斐なし今月は五回脛の水抜く

秋祭予報はづれの青い空菅笠ゆれて下駄音そろふ

花好きの吾に女孫より送られしカニシャボ今年も満開となる

庭畑に玉葱植えてほつとする千種の野菜もそれぞれ育つ

一つずつ歳捨てゆこうと思ひしにおめでとうの声に吾は頬笑む

石垣に櫓残りし城の跡忠臣蔵はまなうらにあり

笑ひぐせつけおき呆けむ老いの知恵おえんま様に愛想となれ

石路の莖すつきりと立ちあがり日ざし傾き秋深まりぬ

健診車に来し数件を夫は云ひもみぢ恋ひゆく狭間のみにち

ふはふはと白い綿虫飛ぶ頃と風なき午後を峰の家恋ふ

風の色を言ひし人ありこの径にゑのころ草はなびきてやまず

咲き残るダチュラをつぼみ九条を共に叫びし人はいまさぬ

庭の木に生まれたる鳩草を引く妻のかたへに來り啄む

※俳句・短歌の応募は、企画課内広報委員会事務局まで。
 なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

森本 幸美 小原 子川 有澤 春江 山下 弓枝 伊藤 清子 都築 初代 小川登代美 佐々木真里 古谷 由美 小野川恵仁 森 昌子 大岸由起子 法光院俊子 山崎 緑 横田直加子 尾立 かよ 竹村 稔美 鍵山 みつ 有沢 泰子 小松もとみ 坂上のぶ子 佐竹 玲子 町 耿子 楠瀬兵五郎

図書館だより

市立図書館



☆楽しかった

「英語ワールド」

香北分館では、昨年11月16日(日)に、福留彩加さん(英語講師)による秋の読書週間おたのしみイベント「英語で楽しむおはなし会」を開催しました。幼児から中学生・保護者など33人が参加し、英語の絵本読み聞かせやカードめくりゲーム・英語の歌を楽しみました。英語での問いかけに子どもたちはすぐに反応し、柔軟にヒアリングや会話を楽しむ様子に驚かされました。いつも「英語が上手になるコツは？」と、思いがけない問いがあり、会場が沸きました。保護者などからは留学についての熱心な質問もあり、講師が体験や知識を生かし誠実に答えていました。アンコール開催の声も上がりみんなで楽しいひとときを過ごしました。

新着本の紹介(市立図書館)

「大人向け」

▽悩む力(姜尚中)▽ソロスは警告する(ジョージ・ソロス)▽ド・ローラ節子の和と寄り添う暮らし(節子・クロソフスカ・ド・ローラ)▽まず石を投げよ(久坂部羊)▽夢は枯れ野をかけめぐる(西澤保彦)▽時のかさなり(ナンシー・ヒューストン)

「子ども向け」

▽はじめて作る布ぞうり(杉澤周子)▽しずかに！ここはどうぶつのとしょかんです(ドン・フリーマン)▽鈴とリンのひみつレシビ(堀直子)▽ナニワのMANZAIプリンセス(荒井寛子)▽ムーンレディの記憶(E・L・カニグズバウグ)▽里山百年図鑑(松岡達英)

おすすめの
1冊

コンゴ・ジャーニー
(上・下)

(作:レドモンド・オハンロン)



幻の恐竜モケレ・ムベンベに会いにコンゴの奥地テレ湖に！そんなこと読んでる途中でどうでもよくなります。魅力的な登場人物とその世界観、もちろん日本では想像もできない驚異の世界。読むだけで絶対テレビでは教えてくれない恐怖のアフリカ旅行が体験できます(笑)。

タダコフさん(香北町)

まちの話題



工科大留学生

料理実習で交流



▲ 講義の風景(最前列は留学生)

昨年12月5日にプラザ八王子で、市食生活改善推進協議会土佐山田支部と高知工科大学留学生との交流が香美市国際交流協会の働きかけにより行われました。

この交流は、同支部の研修に留学生が参加する形で行われ、会員と留学生は高血圧の予防など健康についての講義を受け、その後、塩分が少なめでもおいしく食べられる健康に配慮された料理や、年末年始に使える料理をテーマに調理実習を行いました。留学生が



らは「楽しかった。またやってほしい」など喜びの声が聞かれました。

統計調査功績者表彰

「平成20年度統計調査功績者表彰伝達式」が昨年11月18日、高知会館(高知市)で行われました。

統計調査員として永年にわたり尽力された川村恭子さん(栄町)が、その功績を認められ総務大臣より表彰されました。また事業所として調査協力等、多大な貢献のあった(株)土佐山田ショッピングセンターが厚生労働大臣表彰を受けました。